

ヤクシカ・ワーキンググループについて

1 ヤクシカ・ワーキンググループの設置の目的

厳正な保護を図るべき屋久島世界遺産地域においてヤクシカの採食等により森林の植生や希少植物の生育等に悪影響が出ていることから、世界遺産地域におけるヤクシカ被害について対策を講じるにあたり、科学的知見に基づいた助言を得ることを目的として、屋久島世界遺産地域科学委員会設置要綱第4条第5項に基づきヤクシカ・ワーキンググループを設置する。

2 ヤクシカ・ワーキンググループの構成

【科学委員会委員】

矢原 徹一	九州大学大学院理学研究院教授(座長)
吉良 今朝芳	鹿児島大学元教授
荒田 洋一	樹木医(屋久島在住)
立澤 史郎	北海道大学大学院文学研究科助教
松田 裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

【特別委員】

手塚 堅至	ヤクタネゴヨウ調査隊代表(屋久島在住)
矢部 恒晶	森林総合研究所九州支所森林動物研究グループ長
濱崎 伸一郎	(株)野生動物保護管理事務所関西分室長
杉浦 秀樹	京都大学野生動物研究センター准教授

3 経緯等

平成22年 7月28日 平成22年度第1回屋久島世界遺産地域科学委員会においてヤクシカ・ワーキンググループの設置について承認

平成22年10月15日 第1回ヤクシカ・ワーキンググループ開催

平成22年12月22日 第2回ヤクシカ・ワーキンググループ開催

平成23年 6月19日 第3回ヤクシカ・ワーキンググループ開催

(参 考)

1 第1回ヤクシカ・ワーキンググループ(平成22年10月15日開催)

○ 主な議事

- ・ 世界遺産地域におけるヤクシカによる森林植生等への被害及び生息状況等の確認
 - ヤクシカによる森林植生等への被害状況とヤクシカの生息状況についての確認
- ・ 関係機関における取組状況(取組の現状と今後の計画等)
 - 九州地方環境事務所、九州森林管理局、鹿児島県、屋久島町よりヤクシカの被害対策等の現状と今後の計画等について報告、議論
- ・ 世界遺産地域におけるヤクシカ被害対策への対応方策の検討
 - 九州森林管理局より、ヤクシカ被害対応の基本的な考え方を説明、議論
- ・ 屋久島生態系維持回復事業計画(霧島屋久国立公園)
 - 九州地方環境事務所より、自然公園法に基づく生態系維持回復事業計画の内容、目標、今後のスケジュールについて説明、議論

2 第2回ヤクシカ・ワーキンググループ(平成22年12月22日開催)

○ 主な議事

- ・ 第1回ヤクシカ・ワーキンググループにおける主な意見等
 - 第1回ヤクシカ・ワーキンググループで出された主な意見等について確認
- ・ 関係者からの意見聴取
 - ヤクシカに係る研究者、地元関係者等からの意見聴取、質疑応答
(揚妻直樹北海道大学和歌山研究林長、塩谷克典(財)鹿児島県環境技術協会調査部参事、牧実寛屋久島町楠川区長からの意見聴取)
- ・ ヤクシカの頭数管理等
 - 第1回目のヤクシカ・ワーキンググループで議論された基本的な考え方、最新の生息状況等をもとに、ヤクシカの適正頭数、目標頭数、個体数管理の推進方策等について議論
- ・ 屋久島生態系維持回復事業計画(霧島屋久国立公園)
 - 九州地方環境事務所より、自然公園法に基づく生態系維持回復事業計画のたたき台について説明、議論

2 第3回ヤクシカ・ワーキンググループ(平成23年6月19日開催)

○ 主な議事

- ・ 第2回ヤクシカ・ワーキンググループにおける主な意見等
 - 第2回ヤクシカ・ワーキンググループで出された主な意見等について確認
- ・ 関係機関の取組(概要)
 - 九州地方環境事務所、九州森林管理局、鹿児島県、屋久島町等よりヤクシカの被害対策等の取り組みについて概要報告、議論
- ・ ヤクシカの適正密度・目標
 - ヤクシカの適正密度・目標の基本的な考え方について議論
- ・ ヤクシカの個体数管理推進方策
 - ヤクシカの個体数管理推進方策の基本的な考え方について議論